

# プライマリー・フィールドⅡ 絵画の現在—七つの〈場〉との対話

## Primary Field II



小西真奈《浄土2》 2007年 静岡県立美術館寄託 撮影：木奥恵三  
Courtesy of the artist and ARATANIURANO

### 新鮮な感覚をもった活躍中の7人の画家たち

プライマリー・フィールドとは「基本的な場所」もしくは「原初的な場所」という意味です。冬の海を望む葉山館の白い展示室は、その場所自体が「原初的な場所」に通じるかのような静かな空間。会場は7つの場に、きらめくような新鮮な感覚をもった活躍中の7人の画家たち、高橋信行(1968-)、小西真奈(1968-)、保坂毅(1980-)、三輪美津子(1958-)、東島毅(1960-)、伊藤存(1971-)、児玉靖枝(1961-)の絵画の世界がオムニバス形式で広がります。

### 新しい絵画の世界を開こうとする視座

私たちの文化が一つの転換期を迎えているかに思える今日、様々な制度の解体と再構築が試みられていますが、「絵画」というフィールドでもそれが問われていると言えるでしょう。ここで取り上げる7人の画家たちはそうした時代の中で、すでに確立されてきた過去の絵画に憧憬や畏怖の念をもちつつも、作家自身の知覚のリアリティに自然体で誠実に向きあうことで、絵画の歴史性を乗り越え、新しい絵画の世界を開こうとする視座をもつ画家たちです。人間の知覚体験の不思議さを静謐の中に喚起し、イメージが生成される場に立ち会える、見るたびに初めて見るような形に出会える展覧会です。

この展覧会は2007年に開催された「プライマリー・フィールド」展のシリーズ企画第二弾として開催いたします。

2010年12月4日(土)～2011年1月23日(日)  
神奈川県立近代美術館 葉山

休館日：月曜日 [ただし1月10日は開館]、12月24日(金)、  
12月29日(水)～1月3日(月)、1月11日(火)

開館時間：午前9時30分～午後5時 [入館は午後4時30分まで]

観覧料：一般 900円(800円)、

20歳未満と学生 750円(650円)、

65歳以上 450円、高校生 100円

\* ( ) 内は20名以上の団体料金

中学生以下および障害者手帳をお持ちの方は無料

主催：神奈川県立近代美術館

協賛：SHISEIDO

### 展覧会関連プログラム

■ 沢山 遼氏(美術批評家)と是枝 開(担当学芸員)による  
ギャラリー・ツアー

12月23日(木・祝) 午後2:00～3:00  
申込不要、無料(ただし観覧券が必要です)

■ 担当学芸員によるギャラリートーク

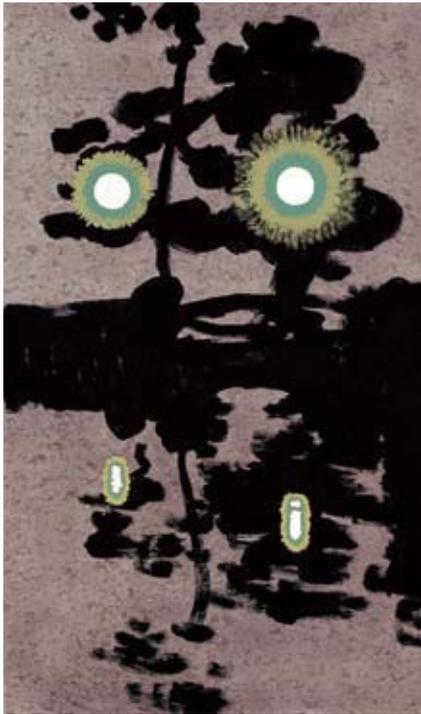
日時：2010年12月18日(土)、12月25日(土)、  
2011年1月15日(土)、1月23日(日)  
各回 午後2:00～3:00  
申込不要、無料(ただし観覧券が必要です)

■ ファミリー・コミュニケーションの日

毎月第1日曜日(今回は12月5日)は、18歳未満のお子様連れのご家族は、  
優待料金(65歳以上の方を除く)でご観覧いただけます。

■ プレスリリース及び展覧会情報は、  
美術館ホームページでもご覧いただけます。  
<http://www.moma.pref.kanagawa.jp>

■ お問い合わせ先 神奈川県立近代美術館 葉山  
〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色2208-1  
tel.046-875-2800 / fax.046-875-2968  
広報担当：土居、平井 展覧会担当：是枝、稲庭



高橋信行《今年のともしび》2007年 個人蔵



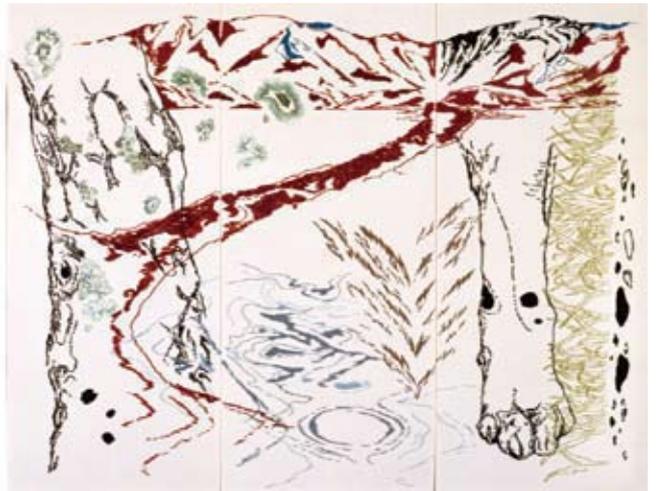
保坂 毅《Stripe05 (kiwaku)》2006-08年 作家蔵



東島 毅《ここにある歴史について》  
《通り過ぎる場所としての絵画》  
2006年 作家蔵



児玉靖枝《気配—萌木》2008年 個人蔵



伊藤 存《Picnic》2000年 国立国際美術館蔵



三輪美津子《Kippenbergerのテーブルセット》2002年 個人蔵

## 高橋 信行 (たかはしのぶゆき)

撮りためてきた写真や雑誌の切り抜きをもとに描かれる高橋信行の風景画は、軽快で汪洋としつつもその風景が元来持ち合わせる素性を暴くような深淵さをもっています。

1968 神奈川県生まれ  
1991 愛知県立芸術大学美術学部油画科卒業

### ■主な個展

2003 ギャラリー TAF / 京都  
2004 「近所とか名所とか」白土舎 / 名古屋  
2006 「2泊3日」白土舎 / 名古屋  
2007 「名古屋時代」白土舎 / 名古屋  
「2007」ペイスギャラリー / 東京

### ■主なグループ展

2003 「絵画新世紀」展 広島市現代美術館  
『「アート・スコープ」の12年—  
アーティスト・イン・レジデンスを読み解く』原美術館 / 東京  
2005 「風景遊歩」丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 / 香川

## 小西 真奈 (こにしまな)

小西真奈は写真の画像をもとに人物や風景を恬淡と描き続けています。それらは静寂の中に不思議な日常の不気味さを感じさせ、じわじわと白昼夢のような様子を帯びて見る者の心に入りこんでいきます。

1968 東京都生まれ  
1993 Corcoran School of Art 卒業 / ワシントン DC USA  
1996 Maryland Institute College of Art, Hoffberger School of Painting 修了 /  
メリーランド州 USA

### ■主な個展

2006 「金華山」Space Kobo & Tomo / 東京  
「おさるのくにと竜宮」Space Kobo & Tomo / 東京  
「夏の島」Space Kobo & Tomo / 東京  
2007 「どこでもない場所」第一生命ギャラリー・ARATANIURANO / 東京  
2008 「心、身体、精神—空間—」フォーエバー現代美術館ギャラリー / 秋田  
2009 「Portraits」ARATANIURANO / 東京

### ■主なグループ展

2009 「山と渓谷」ARATANIURANO / 東京  
「収蔵品展 030 開館 10 周年記念 響きあう庭」  
東京オペラシティ アートギャラリー / 東京  
2010 「Small Paintings」ARATANIURANO / 東京

## 保坂 毅 (ほさか たけし)

本展で最年少の新進作家。不定形の半立体状の支持体の各面に、響き合う色彩を塗り込めて構成するというチャレンジ精神あふれる抽象絵画を制作し、表層の色彩と支持体の形態が一体となって共鳴する新しい絵画表現を模索しています。

1980 福島県生まれ  
2003 武蔵野美術大学卒業  
2005 武蔵野美術大学大学院修士過程修了  
現在 東京都在住

### ■主な個展

2006 ART TRACE GALLERY / 東京  
2007 ART TRACE GALLERY / 東京  
2009 A-things / 東京  
遊工房 artspace / 東京

### ■主なグループ展

2009 「サイボーグの夢」ART TRACE Gallery / 東京  
「TRIO-A- STRIPE」A-things / 東京  
2010 「TRIO-A- GRID」A-things / 東京

## 三輪 美津子 (みわ みつこ)

見る者の視線を宙吊りにするかなのような三輪美津子の多彩で振幅のある作品群は、あっけらかんとしながら、終わりのない意義深い問いをわたしたちに突きつけてくるかのようです。

1958 名古屋市生まれ  
1981 愛知県立芸術大学美術学部デザイン科卒業

### ■主な個展

2004 「Golden Hedgehog」Gallery HAM / 名古屋  
2005 「Blue Period」Gallery HAM / 名古屋  
2008 「-BODY-AND/OR MIMICRY」Gallery HAM / 名古屋  
2009 「SKELTON」Gallery HAM / 名古屋  
2010 「1985-2009」1223 現代絵画 / 東京

### ■主なグループ展

2007 「ポートレート・セッション@NADiff」NADiff / 東京  
「ポートレート・セッション」広島市現代美術館 / 広島  
「消失点-日本の現代美術」ニューデリー国立近代美術館 / ニューデリーほか

## 東島 毅 (ひがしじま つよし)

東島毅の絵画は、見る者を包み込むような圧倒的な印象を与える大画面であり、20世紀の抽象絵画がもつ、最も豊かな側面のダイナミックな今日的展開と見ることができそうです。

1960 佐賀県生まれ  
1986 筑波大学大学院修士課程芸術研究科美術(絵画)専攻修了  
現在 岡山市在住

### ■主な個展

2005 「東島毅-ときどき きき眼を 変えてみる」  
海岸通ギャラリー CASO / 大阪  
2007 「東島毅 新作展」アキライケダギャラリー-田浦 / 神奈川  
「東島毅展 Selected Works 1988-2006」岡山県立美術館 / 岡山  
2008 「東島毅展 絵—PICTURE」国際芸術センター青森 / 青森

### ■主なグループ展

2001 「SENRITSUMIRAI (先立未来)—FUTURO」ANTNRIORE  
Arte attuale dal Giappone Centro per l' arte acontemporanea  
Luigi Pecci / プラート、イタリア  
2006 「ながめのある部屋 A Room with "Views"」  
京都造形芸術大学ギャラリー・オーブ / 京都  
「Art in 福寿会館」福寿会館 / 広島  
2008 「絵になる文字」大原美術館有隣荘 / 岡山  
2010 「野村和弘 / 東島毅 みることをかんがえる」いわき市立美術館 / 福島

## 伊藤 存 (いとう ぞん)

自然の光景や動物などの身近なイメージを、布にカラフルな刺繍を施すことによって表現している伊藤存の作品には、従来の作品概念で規定しようとする、するりと抜け出してしまふような斬新さと自由奔放さがあります。

1971 大阪府生まれ  
1996 京都市立芸術大学美術学部卒業  
現在 京都府在住

### ■主な個展

2006 「三つの個展：伊藤存 × 今村源 × 須田悦弘」国立国際美術館 / 大阪  
2007 「NEW TOWN のスペース」リトルモア地下 / 東京  
2008 「バイ-バイ-エックス」児玉画廊 / 東京  
2009 「四月パカ」タカ・イシイギャラリー / 東京

### ■主なグループ展

2009 「Stitch by Stitch 針と糸で描くわたし」東京都庭園美術館 / 東京  
「Louisa Bufardecchi & Zon Ito」シドニー現代美術館  
「MOT コレクション 夏の遊び場—  
しりとり、ままごと、なぞなぞ、ぶらんこ」東京都現代美術館 / 東京  
「ネオテニー・ジャパン-高橋コレクション」上野の森美術館 / 東京 ほか  
「第三回南京三年展 (第三回南京トリエンナーレ)」南京南視覚美術館

## 児玉 靖枝 (こだま やすえ)

観賞者と制作者の視線を関係づけることを常に意識して絵画を制作してきた児玉靖枝は、具象と抽象を往還し、包摂するかなのような21世紀の新たな半具象・半抽象絵画を探索しているといえるでしょう。

1961 神戸市生まれ  
1986 京都市立芸術大学大学院美術研究科修了  
現在 京都府在住

### ■主な個展

2002 「はないろ」セゾンアートプログラム・ギャラリー / 東京  
2003 「空・青」CASO / 大阪  
2005 O gallery eyes / 大阪  
2008 「継続する意志-vol.18 児玉靖枝展」ギャラリー 21+葉 / 東京

### ■主なグループ展

2004 「四批評の交差」多摩美術大学美術館 / 神奈川  
「時の器V-未来の幼子のために」アートスペース虹 / 京都  
2006 「Reseau-透膜の兆し」O gallery eyes / 大阪  
2007 「DIALOGUES Painters' Views on the Museum Collection」  
滋賀県立近代美術館 / 大津